

令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科入試 絵画専修 出題意図

**作品**

提出作品において、作品として完成させる力、使用している材料や技法についての基礎的な理解と応用的な表現力、自身のテーマや着想をもとにした独創的な発想力や造形力などを確認し評価する。

**口述試験**

自身の研究や制作の方向性や意図を、どのように視覚化するかを問う。制作のテーマに対する独自の解釈や、研究対象の分野における学術的な背景に対する思考力、また視覚芸術としての技術力・表現力・創造性などを総合的に評価する。

**面接**

絵画分野において、幅広い教養と専門的素養を備えているかをみる。研究計画書などを総合的に評価し、専門的な知識を備えているか、現代社会において発信していく目的意識意欲を備えているか、世界観に論理的な考察力を備えているかを確認する。

令和8年度沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科入試  
絵画専修の解答・解答例について

1. 作品提出

出題内容が個々の研究に関する作品の提出であり、解答又は解答例を公表することで受験生の作品に影響を及ぼす可能性があること、また著作物にあたることから、解答及び解答例は公表しない。

2. 口述試験

応答内容が個々の研究に関するアイデアに付随するものであり、解答も解答例も著作物にあたることから、解答例は公表しない。

3. 面接

質疑内容が個々の研究等に関するものであり、解答及び解答例がないため公表できない。